

平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	3. (仮称) 佐倉西部自然公園整備事業
項	3. 都市計画費	中事業	
目	6. 公園費	担当所属	公園緑地課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第5章	住環境が整備された住みやすいまちづくり	5年間計画額	192,139
臨時	単独	計画	0	0	10,066		基本施策6	公園・緑地の整備	平成28年度	13,700
									平成29年度	22,265
									平成30年度	25,420
									平成31年度	74,725
						施策1	身近な憩いの場を創出します	平成32年度	56,029	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	235	
本年度当初査定額	235	21,558

財源内訳	使用料及び手数料						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						235	△235
本年度当初査定額	235						0	21,323

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 【委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路等公共用地測量業務委託 L=850m</li> <li>景観保全、除草業務委託 A=12ha*1回 A=7.2ha*2回 巡回管理36回</li> </ul> <p>【負担金】・土地改良区賦課金</p> <p>【公有財産購入】・下志津地先 A=4,518㎡</p>	<p>(事業の目的) (仮称) 佐倉西部自然公園整備基本計画に基づき、市民意見を反映しつつ、里山・谷津の景観を保全・再生することで、身近な自然環境にふれ合う機会や、自然から学ぶ機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流を図り、身近なふるさととの文化の継承を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境を保全することで、手繰川・上手繰川の自然環境を借景として、身近な市民の憩いの場を創出することができます。また、保全のための方策として、市民の理解と協力を得ながら公園化を図り、望ましい維持管理を行いながら次世代に貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 境界不確定箇所の取り扱い</p>	<p>(前年度からの見直し点) 土木管理課との共同作業の推進</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
13	10,080	17,530	△7,450
17	11,295	0	11,295
19	183	183	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	13	01	06	07	01	00	土地使用料	235	235	235	0
差引一般財源								△235	21,323	△235	21,558